

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	SJTC1411 SJTC3411
2. 授業担当教員	荻原 邦昭		
4. 授業形態	講義、討議や発表学習を中心に	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	「学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容や児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」ことを理解するとともに、児童や地域の実態に即し目指す資質や能力を明らかにするとともに、カリキュラムマネジメントの視点から各教科の内容を教科横断的に組織する必要性について理解する。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について様々な視点で考えることができる。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原理及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。 		
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【中間レポート】</p> <p>○教科「道徳」の学習指導案の作成と模擬授業。 ※指定の様式で作成する。</p> <p>【期末レポート】</p> <p>「小学校の教育課程編成の実施上の留意点について述べなさい」 ※1,000字から1,200字でまとめる。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>文部科学省『小学校学習指導要領解説「総則編」』東洋館出版。</p> <p>【参考書】</p> <p>小学校学習指導要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省) 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 (平成 29 年 3 月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省) 幼稚園教育要領 (平成 29 年 3 月告示 文部科学省)</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育課程の意義について理解し、説明できる。 2 近代及び現代日本の教育課程の歩みと教育課程をめぐる現状と課題を理解し、説明できる。 3 学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解、説明できる。 4 指導案の作成、模擬授業の実施を通して、学習過程や成果などを PDCA サイクルにて考えることができる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>学校教育が知・徳・体の調和のとれた子どもたちを育成し、地域社会・家庭から信頼を得るためには、適切で特色ある教育課程の編成が求められている。このため本科目では、教育課程の根拠となる幼稚園教育要領、小学校学習指導要領や教育課程の編成、実施、評価について学び、教育課程の望ましいあり方について考察する。このため、受講生は次の事柄を順守することを望む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緊張感と集中力をもって受講する。 2 質問、発表を積極的に行い、主体的に取り組む。 3 欠席、遅刻、早退はしない。 4 勝手な退室、講義と無関係な振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作は慎む。 <p>教員は次のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 講義のねらいを明確にし、シラバスに沿って講義する。 2 声の大きさや話し方など受講生の立場に立って講義する。 3 討議など受講者が講義に参加できる環境に配慮する。 4 受講者の質問には誠実に対応する。 		
13. オフィスアワー	授業時間内に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	○オリエンテーション ・「教育課程論」の目標及び学習内容と今後の予定、授業の進め方を確認する。 ・教育課程の定義について考える。 ・「教育課程論」を学ぶ意義を考える	事前学習	シラバスを読み、講義概要を把握しておく。
		事後学習	「教育課程論」を学ぶ意義について復習する。
第 2 回	○教育編成の編成 ・編成の手順をまとめる。 ・学習の基礎となる資質・能力について理解する。 ・カリキュラムマネジメントについて理解する。 ・学校教育の目的・目標は、どのようになっているか考える。	事前学習	学校教育の目的・目標を調べる。
		事後学習	編成の手順を整理する。 今求められている資質・能力についてまとめる。 学校教育の目的・目標についてまとめる。
第 3 回	○教育課程の実施と評価 ・主体的・対話的で深い学びを生かした授業実現を考える。 ・言語環境の整備と言語活動の充実を通じた思考力育成について学ぶ。 ・体験活動を学習活動にどう生かすのかを話し合う。	事前学習	教科書を読んでおく。
		事後学習	教育課程を実施・評価するうえのいくつかのポイントについて整理する。

	・PDCAサイクルの意義と学校評価の方法や手順について学ぶ。		
第4回	○児童の発達の支援① ・学級経営と生徒指導の関係から児童の発達の支援について学び、質を高めるための方策を考え合う。	事前学習	教育課程実施上の課題について、生徒指導の観点から調べておく。
		事後学習	学びの成立のためには学級経営が果たす役割が大きいことを整理する。
第5回	○児童の発達と支援② ・不登校問題と発達障害について取り上げ、事例をグループで検討する。	事前学習	不登校問題と発達障害について調べておく。
		事後学習	グループで出た意見をまとめ、今日の児童を巡る問題について整理する。
第6回	○教育課程と道徳① ・教科「道徳」の目標、ねらいを知る。 ・教科「道徳」の内容と学習活動、学習方法について学ぶ。	事前学習	教科「道徳」の授業のあり方について考えておく。
		事後学習	教育課程における道徳教育の位置づけや意義についてまとめる。
第7回	○教育課程と道徳② ・教科「道徳」の授業をDVDで視聴し、その感想等を話し合う。	事前学習	道徳教育について教科書を読んでおく。
		事後学習	教科「道徳」の授業の進め方について、そのポイントをまとめる。
第8回	○教育課程と道徳③ ・教科「道徳」の学習指導案を作成し、模擬授業の順番を決定する。	事前学習	教科「道徳」の学習指導案を構想する。
		事後学習	教科「道徳」の学習指導案の参考資料を基に見直す。
第9回	○教育課程と道徳④ ・教科「道徳」の模擬授業を行う。	事前学習	模擬授業の準備を行う。
		事後学習	模擬授業の感想・意見をまとめる。
第10回	○教育課程と道徳⑤ ・教科「道徳」の模擬授業を行う。	事前学習	模擬授業の準備を行う。
		事後学習	模擬授業の感想・意見をまとめる。
第11回	○教育課程と道徳⑥ ・教科「道徳」の模擬授業を行う。	事前学習	模擬授業の準備を行う。
		事後学習	模擬授業の感想・意見をまとめる。
第12回	○幼稚園教育と教育課程 ・幼稚園教育要領の概略 ・教育課程の編成の要点	事前学習	幼稚園教育要領を読んでおく。
		事後学習	幼稚園における教育課程編成をまとめる。
第13回	○近代の教育課程の歩み ・明治、大正の教育課程の歩みをまとめる	事前学習	教育課程の歩みを事前配布の資料をもとに調べておく。
		事後学習	各時代の教育課程の特色について整理する。
第14回	○現代の教育課程の歩み ・昭和、平成の教育課程の歩みをまとめる	事前学習	教育課程の歩みを事前配布の資料をもとに調べておく。
		事後学習	各時代の教育課程の特色について整理する。
第15回	○教育課程の評価 ・教育評価とは何か ・教育評価の種類と主体について ・学力評価の4つの立場について ・PDCAサイクルについて	事前学習	教育課程の評価を調べておく。
		事後学習	教育課程の評価についてまとめる。
期末試験			